

伊藤病院だより
AUTUMN

Voice

2015年9月1日発行 第51号 東京都渋谷区神宮前4-3-6 伊藤病院広報誌委員会



キヤットストリート

医療の国際化に向けて

◆2015年上半期を振り返って

伊藤病院 国際医療室 ティ

円安やビザ緩和による訪日観光客が増加していることを追い風に、訪日中、滞在時間を利用して受診したり、セカンドオピニオンを求め来院する患者様が増加しています。

今年上半年、国際医療室で外国人患者様向けに対応した件数は439件となり、前年同期比と比べ約2倍になっています。当院が以前から積極的に取り組んできたメディカルツーリズムと、無料で中・韓国語の通訳を提供していることが背景にあると思っております。例えば、初めて来院した患者様の初診申込書の記入から始め、診察、検査、そして会計まで同行し、通訳を提供しています。このような通訳サービスを提供する事により、初診時の患者様の不安を払拭し、安心して受診することができます。又、当院ならではの通訳の提供に取り組んできたところ、現在は、海外より当院のホームページを介し連絡いただくことは勿論、患者様からの口コミを通じて来院することも後を絶たないです。

現在に至るまでの土台ができたのは、外国人患者様にも同じような医療を提供するために全職員が一丸となって医療を提

供してきたところにあるとしみじみ思っております。

8月より国際医療室には更に一人が入職し、現在は二人体制となっており外国人患者様に通訳を提供しています。これまでの経験を礎に、これからも引き続き甲状腺に関する知識を身に付けながら、外国人患者様に安心、頼りにされる通訳を提供していくために、頑張ってまいりたいと思っております。これからもよろしく願います。



◆入職のご挨拶

伊藤病院 国際医療室 李順花

2015年8月1日、国際医療室に入職いたしました李順花と申します。

前職では医療コーディネーター兼医療通訳を担当しており、患者様と医療機関の中間の立場で、海外からおこしになった患者様が安心して日本で様々な治療を受けられるように橋渡し役となる仕事をしておりました。



私も甲状腺疾患にかかっているため、半年に一回、経過観察を受けている一患者でもあります。甲状腺機能亢進症を発症し、一番苦しんでいた時期は中国在住時で、受けていた治療が身体に合わず苦しみ、この治療法が私に最適な治療法だったのかに悩み、治療を中止した時期がありました。

今までの闘病経験を活かし、私と同じように甲状腺疾患に苦しみ、悩んでいる外国人患者様が言語の壁がなく、安心して当院で治療を受けられるよう精一杯頑張りますので、何卒宜しくお願いいたします。

中国語・韓国語の通訳をご希望の方は受付までお知らせください。

伊藤公一院長が第48回日本甲状腺外科学会を開催します

10月29日と30日の2日間、青山ダイヤモンドホールにて日本甲状腺外科学会学術集会を開催します。

日本甲状腺外科学会は検討会から始まり、研究会を経て学会に昇格しました。そして毎年秋には甲状腺外科、頭頸科、放射線科、病理学など甲状腺・副甲状腺疾患の外科診療に携わる同胞医師が、全国から集う学術集会を開催しております。

活動の幅は広く、甲状腺がんの種類や進行度の分類を示す「甲状腺癌取り扱い規約」の管理や、日本内分泌外科学会と協調し「内分泌外科専門医」制度を維持、「甲状腺腫瘍診療ガイドライン」の策定など、甲状腺外科領域全般の発展に努めております。

そこで48年目となる今回は、「少子高齢化時代における甲状腺外科」をテーマに、変容する社会環境に、甲状腺外科医がどのように対応していくべきかを真摯に議論する場となるよう、趣向を凝らしたプログラムを企画しました。

また、会期中にはNPO法人TODoc Networkが主催する市民公開講座「甲状腺がん～からだの治療とこころのケア～」も開催しますので、患者様やご家族の参加を心よりお待ちしております。

なお会期中は外来診療を休診とし、御不便をおかけしますが、今回の学会開催を、私どもの、さらなる診療進歩に繋げていくつもりでございます。

何卒ご理解のうえ、どうぞよろしくお願い申し上げます。

■市民公開講座「甲状腺がん～からだの治療とこころのケア～」

日時 平成27年10月30日(金) 17:30～19:00
場所 青山ダイヤモンドホール(港区北青山3-6-8)
入場 無料(事前申込が必要です。定員先着200名)
応募締切 9月30日(火)

詳細はNPO法人TODoc Networkのホームページをご覧ください。

<http://www.todocnetwork.com/>

**少子高齢化時代
における
甲状腺外科**

**第48回
日本甲状腺外科学会
学術集会**

【会長】 伊藤 公一 (伊藤病院 院長)
 【会期】 2015.10.29[木] ▶ 30[金]
 【会場】 青山ダイヤモンドホール
 〒107-0061 東京都港区北青山3-6-8 TEL:03-5467-2111
<http://www2.convention.co.jp/jsts48>

演題登録期間 2015.5.8[金] ▶ 6.22[月]

【学会事務局】 〒150-8528 東京都渋谷区神宮前4-3-6 伊藤病院内
 部長:松津 賢一(伊藤病院)
 TEL:03-3402-7411(医局内線:2939)
 FAX:03-3402-7439

【運営事務局】 〒100-0013 東京都千代田区霞が関1-4-2 大同生命館がらみビル18階
 日本コンベンションサービス株式会社 内
 TEL:03-3508-1214 FAX:03-3508-1302
 E-mail:jsts48@convention.co.jp

2015年10月・11月の診療休診について

毎年、春と秋には甲状腺疾患に関連する学術集会が開催されております。これらの学術集会で知識の吸収や当院での研究成果を発表することは、専門病院としての責務と考え、多数の医師および職員が参加し、その成果を日々の診療に役立てております。

2015年も下記の学術集会期間中は多数の医師が不在となりますので、誠に申し訳ございませんが、期間中は外来診療を休診とさせていただきますことといたしました。

患者様にはご不便をお掛けいたしますが、何卒ご了承くださいませよう、お願い申し上げます。

■休診日

2015年

10月29日(木)～30日(金) 第48回 日本甲状腺外科学会学術集会
 11月 5日(木)～ 7日(土) 第58回 日本甲状腺学会学術集会

日	月	火	水	木	金	土
10月 25 休診	26	27	28	29 学会のため休診	30 学会のため休診	31
11月 1 休診	2	文化の日 3 休診	4	5	6	7 学会のため休診

学会活動

甲状腺の手術時には、その近くに存在する反回神経に影響を生じる場合があるため、当院では手術前後の喉頭内視鏡検査と、手術中の神経モニタリングを実施しています。これらの研究成果について、友田医師が第116回 日本耳鼻咽喉科学会総会・学術講演会(東京・5/21～23)で「甲状腺疾患手術後出血例の臨床的検討」を、第1回 甲状腺副甲状腺術中神経モニタリング研究会(福島・5/30)では「当院における術中神経モニタリングの現状」として発表しました。

國井医師は、第34回 日本乳腺甲状腺超音波医学会学術集会(東京・5/23～24)において、「ドブラ法による前向き臨床試験のfeasibility studyについて」をテーマに特別講演を行うとともに、同テーマで行われたセッションの座長を務めました。また、國井医師は第88回 日本超音波医学会学術集会(東京・5/22～24)にも出席し、「FNAしなくてよい甲状腺結節とは？」をテーマに特別講演を行いました。

第11回 日本短期滞在外科手術研究会学術総会(沖縄・6/13)において、大宜見医師が「副甲状腺疾患における短期滞在手術の可能性」を発表しました。

バセドウ病眼症はよく知られていますが、まれに橋本病など甲状腺機能低下症でも眼に症状が現れることがあります。第79回 臨床内分泌代謝懇話会(東京・6/13)において、吉原医師が「甲状腺眼症を呈したTRAb、TSAAb陰性甲状腺機能低下症の2症例」を発表しました。

第8回 城南糖尿病・内分泌セミナー(東京・6/24)において、渡邊医師が「甲状腺疾患に関する最新の知見～妊娠と甲状腺～」を発表しました。

第1回 東京TCATカンファランス(7/8)において、鈴木章史医師が「肺転移・骨転移が進行した比較的若年のRI抵抗性低分化濾胞癌」を発表しました。

第64回日本医学検査学会(福島・5/16～17)では、臨床検査室の宮崎室長と田中主任が発表を行いました。大須だよりのコーナーであわせてご紹介します。

ピックアップ 日本内分泌外科学会総会

5月28日・29日に、福島県で第27回 日本内分泌外科学会総会が開催されました。

この学術集会は、甲状腺・副甲状腺とともに下垂体、副腎や膵臓など内分泌臓器の病気について、外科治療・研究に携わっている医師が集まり、研究発表や情報交換の場になっています。

毎年、当院からも多くの医師が参加しており、今年も下記のとおり5つの演題発表とともに、宇留野医師がワークショップで「バセドウ病甲状腺全摘手術における、Quality Indicator作成の試み」をテーマに演者を務め、伊藤院長・杉野副院長・長濱外科部長・北川診療技術部部长は一般演題の座長も務めました。

発表演題

北川 亘	甲状腺穿刺吸引細胞診class3で受診した症例の検討
大宜見由奈	Ex2として反回神経浸潤のみを有する甲状腺乳頭癌症例の長期予後
齊藤芙美	腫瘍塞栓を認めた甲状腺濾胞癌の検討
友田智哲	甲状腺手術における術後出血例の喉頭所見について
鈴木章史	その結節、本当に腺腫様甲状腺腫ですか？ ～甲状腺結節に類似し、「神経鞘腫」と診断に至った3例を通して～



講演活動

甲状腺疾患に見られる症状は非常に幅が広く、一般の外來にいらっしゃる患者様の中にも、甲状腺の病気が原因となっている方も少なくありません。当院では、地域医療に尽力されている先生方をはじめとして、甲状腺疾患の有無の診断や、緊急に治療が必要かどうかを判断するポイントなど、甲状腺疾患の診断、治療時の留意点について、積極的に情報発信しております。

伊藤院長は、藤沢市医師会が主催する平成27年度 第1回生涯教育講演会(藤沢・5/13)において、「伊藤病院における甲状腺疾患診療」をテーマに講演しました。



吉村内科部長は群馬甲状腺講演会(群馬・5/28)において、「甲状腺疾患の診断、これだけは！」をテーマに講演しました。

向笠内科医長は、神奈川県病院薬剤師会薬学合同研修会(横浜・5/21)において、「甲状腺専門病院における甲状腺疾患の治療」をテーマに講演しました。

秋田県甲状腺腫瘍治療検討会(秋田・6/20)において、長濱外科部長が「甲状腺癌に対する外科的アプローチ」をテーマに基調講演を行いました。

吉原医師は、中外製薬(株)の甲状腺疾患と骨代謝に関する社内研修会(東京・7/29)において、「パセドウ病と骨代謝」をテーマに講演しました。

北川診療技術部部長は、第6回 道南甲状腺疾患懇談会学術講演会(函館・7/30)において、「伊藤病院における甲状腺結節の診断と治療」をテーマに特別講演を行いました。

ピックアップ 日常診療で診る 頸動脈エコー・甲状腺エコー講演会

甲状腺疾患は、甲状腺の形に異常が現れることが多く、特に腫瘍の存在を確認するためには、超音波検査(エコー)が非常に有用です。しかし、超音波検査は検査者の経験や技量が診断に影響することもあるため、当院では甲状腺とその周囲を9つのエリアに分け、甲状腺の上下の縁や裏側など腫瘍を見落としやすい部位については特に注意して観察するようにしています。



このような当院の検査手技と超音波画像の見方について、動画や症例画像を交えて、北川診療技術部部長と國井医師が下記のとおり各地で講演を行いました。

「甲状腺超音波検査のみかた～見逃してはいけない甲状腺エコー所見～」

北川診療技術部部長 横浜・6/7、さいたま・6/13
 仙台・6/20、沖縄・7/11
 國井医師 東京・6/20、7/25

伊藤院長が筑波大学大学院で講義を行いました

伊藤院長は2002年から筑波大学大学院外科学教室の非常勤講師を務めており、毎年、大学院で講義を行っております。

今年も、6月24日に「甲状腺疾患専門病院の診療」をテーマに、甲状腺疾患全般について実際の症例や検査のビデオ映像などを交えて幅広く講義を行いました。

会場には、医学生だけでなく、甲状腺外科の専門育成にも尽力されている原尚人教授をはじめとする医師の方々もお集まりになり、活発な質疑も行われました。また、参加できなかった方のために、講義風景は録画され、Eラーニングにも使用されています。



Mt.富士ヒルクライムに参加しました

伊藤病院 外科 宇留野隆

富士山を自転車で駆け上がる「第12回Mt.富士ヒルクライム」が2015年6月14日に行われ、伊藤病院トライアスロン部の有志4名で参加してまいりました。

ヒルクライムとは、山や丘陵の上り坂に設定されたコースを自転車で走る登坂競技で、Mt.富士ヒルクライムは、標高差、ゴール地点の標高、参加者の人数のいずれにおいても日本有数の規模を誇る大会です。平地のレースでは、一般的に集団走行となることが多く、他車との接触、転倒の危険性が少ないのに対して、上り坂では実力に応じてタイム差が大きくなります。アスリートクラスを除けば、速度も比較的ゆっくりになりますので、延々上り坂でこぎ続けなければならない苦行ではありますが、ファンライダーでも安全性は高いといわれています。

富士吉田市の富士北麓公園をスタートし、鳴沢村の富士スパルライン5合目にゴールする約24キロ、標高差約1300メートルのコースを、過去最多の約7800人が駆け抜けました。台湾からの約160人を筆頭に海外からも約200人が参加したそうです。あいにくの小雨模様で、絶景を見ることはできませんでしたが、初参加の2名を含め4名全員が完走することができました。

伊藤病院トライアスロン部は、2010年より活動を開始し、メンバーそれぞれが、RUN、BIKE、SWIMのイベントに参加する他、トライアスロンの大会のリレー部門に参加しており、本年は、9月の九十九里浜での大会に3チームの参加を予定しております。



全員無事完走。
朝7時スタートのため、応援チームも前日から現地入りしました。

新しいリニアックを導入しました

昨年9月より進めておりましたリニアック装置の入れ替え工事が完了し、今年6月よりリニアック治療を再開しました。

リニアックは放射線治療装置の一つで、エネルギーの高い放射線を照射して腫瘍を縮小・破壊することができます。当院では甲状腺悪性リンパ腫、甲状腺がん、甲状腺がん骨転移、甲状腺眼症などの治療に使用しております。

リニアックから照射される放射線により、腫瘍に届くまでに正常細胞もダメージを受けますが、腫瘍細胞と異なり細胞自身が自己修復することができます。そのため、腫瘍細胞を破壊し、かつ正常細胞への影響を最小限にとどめるよう、放射線量を調節して多方向から病巣に集中するよう照射します。今回導入しましたエレクタ・シナジーという装置は、その点でも大変優れた装置です。

入れ替え工事中は大変ご迷惑をおかけいたしました。新しい医療機器導入等による診療機能向上とともに、患者様に寄り添った安心・安全な治療を心がけてまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。



エレクタ・シナジーと照合機器の特徴

病巣に正確に照射するための、下記の特長を備えています。

- ・CT撮影が可能となり、画像を見ながら照射位置を調節できる。
- ・ベッドが上下左右の移動に加え、回転移動も可能となり、より精密な位置合わせができる。
- ・照射する放射線の形を5mm幅160枚のリーフで調整できるので、より細かい治療ができる。
- ・リニアックとベッドと照合装置が連動しており、設定した治療位置に自動で移動し正確な照射できる。

病院からの おしらせ

トイレのご案内

昨年夏に院内の改修工事を行い、検査21（採血室）の1Fへの移動や、診察室の2Fへの集約とともに、各階のトイレ増設工事も行いました。1F女性用トイレは、混雑時にはお並びいただく事もございますが、その際には他階のトイレをご利用いただけましたら幸いです。

Voiceについてのご意見・ご感想をお聞かせください

伊藤病院広報誌Voiceをお読みいただき、ありがとうございます。
 広報誌委員会では、皆様からのご意見を参考に、より良いVoiceを作っていくと考えております。ぜひ、1Fにございます「ご意見箱」にご意見・ご感想をお寄せください。
 いただきましたご意見一つひとつにはお返事できませんが、広報誌委員会で検討し、誌面の改善に役立てて参りますので、ぜひご協力よろしくお願いたします。

医療相談室のご案内

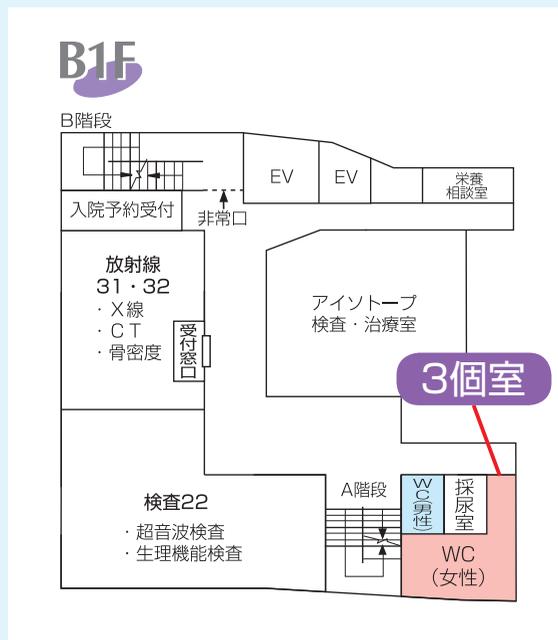
医療相談室では、患者様やご家族が安心して治療が受けられるよう、看護師が不安や悩みについて一緒に考え、サポートをさせていただきます。

ご相談を希望される方は、1F 医療相談室までお気軽にお越しください。

相談受付時間：午前9：00～午後4：30

場所：1階 医療相談室

相談担当：看護師



椿院長が「日常診療で見る頸動脈エコー・甲状腺エコー」で講演しました

講演活動のコーナーでご紹介しました「日常診療で見る頸動脈エコー・甲状腺エコー」が7月4日に名古屋でも開催され、椿院長が講演しました。

このセミナーは医師を対象としたもので、甲状腺のエコー検査の方法から画像診断、さらに細胞診について、症例画像や動画を用いて1時間にならしてご紹介しました。

当日はあいにくの雨にもかかわらず、愛知県内を中心に定員を上回る100名以上のご参加があり、講演会場と別の会場に大型スクリーンを設置し、そちらで聴講された先生方もいらっしゃいました。

また、当診療所の連携施設からも多くの医師が参加され、当診療所での診療について、知っていただく良い機会にもなりました。

今後も、甲状腺を病む方々のために情報発信してまいります。

大須診療所 事務長 高田博史



鈴木美穂医師がロシユセミナーで講演しました

大須診療所 事務長 高田博史

7月3日に名古屋マリオットアソシアホテルにて開催されたロシユセミナー in名古屋2015において、鈴木美穂医師が「臨床検査技師が知っておくべき甲状腺診療の実際」をテーマに講演しました。

臨床検査技師は、採血やエコー検査を始め、細胞診、病理検査など検査部門で幅広く活躍しておりますが、医師の立場から見た検査業務について講演を聴く機会は少なく、愛知県だけでなく、岐阜・三重県など近隣からの参加もあり、会場には150名以上の方々がお集まりになりました。

鈴木医師は、甲状腺疾患の診療の中で、実際に検査技師が提供した検査結果がどのように活かされているか、診断基準と症例を交えてわかりやすく説明しました。座長からも、検査技師の勉強の場として大変役に立ちましたと評価いただきました。

今後も、私たちの取り組みを積極的に情報発信してまいりたいと思います。



日本医学検査学会に参加しました

大須診療所 臨床検査技師 佐々木萌子

第64回日本医学検査学会が5月に福岡にて開催されました。

この学会は全国から臨床検査技師が集まり、日々の取り組みや研究、検討検証、症例報告など、多岐にわたる様々な発表が行われる場です。そして各発表では活発な質疑応答や議論が行われておりました。

今回初めて全国規模の学会に参加させて頂きましたが、甲状腺に関する発表はもちろん、それ以外の分野についての発表も大変勉強になりました。伊藤病院から2演題の発表を行いました。技師の方々の熱心に発表を聴く姿にとっても刺激を受けました。

今後も学会に積極的に参加し、学んだことを日々の業務に活かせるよう、努力してまいりたいと思います。



「FT3,FT4,TSHにおいて非特異反応を呈した一例」

臨床検査室 室長 宮崎直子

FT3、FT4、TSHの測定方法は、一般に免疫学的測定法が広く普及しており、当院でもこの測定方法を採用しています。しかし、免疫学的測定法では頻度はまれですが非特異な反応がおきることが知られており、当院の臨床検査室では非特異反応が起こる可能性を常に考慮し、疑われる場合にはその原因の解析を行っています。

今回、当院で経験したケースについてまとめ、発表しました。

「ISO15189を活用した採血業務における教育体制・医療安全の再構築」

臨床検査室 主任 田中克昌

採血業務における教育体制は以前よりありましたが、2013年に認定取得しましたISO15189を活用し、新入職員のトレーニング体制や職員の継続的な教育体制の再構築を行いました。また、採血は安全な医療行為ではありますが、稀に採血合併症を引き起こすことがあります。患者様には、初診時に案内文の配布や院内のモニタ・掲示物によって情報提供するとともに、そのような症状が発生した際には、院内どの部署でも対応が出来る体制を整えております。

今回、これらの当院の取り組みについて、発表しました。

伊藤病院1Fに当診療所への直通電話を設置しております。
ご質問などございましたら、お気軽にお電話ください。

大須診療所

住所：愛知県名古屋市中区大須4-14-59

電話：052-252-7305 FAX：052-252-7308 HP：<http://osu-shinryoujyo.jp/>

表参道寄り道スポット

表参道 茶茶の間

日 本茶専門店「表参道茶茶の間」はオープンして10年目、「誰もしていないちゃんとしたお茶を飲める場所を作りたい」とお店を始めたという日本茶ソムリエの和多田喜さん。店内にはそれぞれのイメージが感じられるネーミングのお茶が販売されており、そこに綴られるお茶の特徴の説明にも和多田さんのセンスが光ります。茶葉の香りを試す事ができるので、贈り物に購入する方も多いとか。中でも世界一のお茶とオススメする「秋津島」と、試飲させていただいた「咲耶」。咲耶は食事前の一煎目、食後のデザートに二煎目、デザート後に三煎目と、シチュエーションに合わせた淹れ方で楽しませていただきました。まず、濁りのない美しいお茶の色に感動します。最初に口に含むと奥深さやすがすがしさが広がり、後口に残るつつましさはまさに古き良き日本を思わせる味わいで、一口すすめるごとに時間の流れがゆっくりと感じられます。ここで味わえるお茶は、まるで山の自然をそのまま詰めたタイムカプセル。お湯を注ぎただけで口の中でそれが再現されるので、都会にいながらにして自然を感じることができるのです。また、選べるランチは日替わりで、旬のお野菜を優しいお味でいただけます。女性には嬉しい手作りにこだわる和スイーツで一番人気の「茶茶パフェ」は、選べるアイスに、本わらび餅、茹でたて白玉、焙じ茶寒天、玄米フレーク、ミルクムースが入っています。お抹茶、本日のお茶、本日の特選茶の3つをセットで組み合わせられるので、毎回違った味わいを楽しめます。喫茶の効能を説いた書物、喫茶養生記には、お茶は精神を浄化すると記されています。少しずつ冬を迎える秋の季節、淹れたてのお茶を味わい、心を浄化し癒やされてみてはいかがでしょうか。そして、茶葉作りの職人さんと熟練された茶摘みさんがいるからこそ味わえる世界一の日本茶「秋津島」も是非一度飲んでみてください。この先もこの貴重なお茶が楽しめるように、日本だけではなく世界中に日本茶の素晴らしさが広がることを私も願います。



ランチセット 1,100円～



茶茶パフェセット 1,500円～

お店の方から一言

日本茶専門カフェとして早10年。もっともっと本物のお茶の楽しさを皆様知ってほしくて努力しています。単一農園、単一品種だからその味わいを是非。

こちらのVoiceをお持ちいただいた方には、「秘密の一杯茶」をサービスいたします。

店名	表参道 茶茶の間
住所	渋谷区神宮前5-13-14
TEL&FAX	03-5468-8846
営業時間	11:00 - 19:00
お食事	11:00 - 材料売 or 14:30(L.O)
お茶&スイーツ	11:00 - 材料売 or 18:00(L.O)
定休日	月曜日(祝日の場合は翌火曜日)
アクセス	表参道駅・原宿駅からともに徒歩7分

表参道ランチ&グルメ情報

Napule 南青山店

日 今回ご紹介したいお店は、表参道駅B1出口より徒歩1分、青山通りスパイラルホール手前の路地を一步入ったところに位置する「Napule(ナプレ)」です。

ブルーとホワイトのタイル、イエローの外壁、大きな窓からは精魂込めて調理する職人の姿があなたを出迎えてくれます。1Fは厨房と薪窯、2Fは明るく光の差し込む開放的な空間のテーブル席。おしゃれなインテリアで飾られたフロアはまるでイタリアのレストランを訪れたような錯覚に陥ります。

国際コンクール入賞者である職人たちが手がけるピZZAは、もっちりとした舌触りに薪窯独自の風味を感じる深い味わいが特徴。イタリア直送のオーガニック小麦粉を練り上げたその生地は、トッピングに左右されないそのものの美味しさを堪能できます。また、Napuleで使用している薪窯は、ナポリでも有数のピZZA薪窯職人であるフェラーラ家の親子2代が手がけたもの。厳選され選びぬかれた食材はオーガニックの小麦粉を始め、ハム、野菜、ドリンクに至るまでこだわりが伺えます。本物の美味しさを追求するだけでなく体に優しい

料理を提供しています。

平日ランチセットは3コースから選べ、Aセット:パスタ、サラダ、コーヒー 1,200円、Bセット:ピZZA、サラダ、コーヒー 1,400円、C:ミニピZZA又はパスタ+主菜(肉又は魚)、コーヒー 2,800円。セットでありながら単品メニューのボリュームをそのままに、コストパフォーマンスの高さが魅力です。

食欲の低下しやすいこの季節、質の高いイタリア本場の味を堪能し、残暑を乗り切ってみてはいかがでしょうか。

おすすめメニュー



Bセット マルゲリータ 1,400円

お店の方から一言

ナプレでは「ビオクオリティ」を提案すべく、イタリア直送のオーガニック小麦粉や生ハムや国内の厳選した食材を使い、体に優しい料理をお出ししております。生産者の方々が「てまひま」かけて作った食材を大切に料理し、ナプレの「おもてなし」の心とともにご提供しております。

店名	Napule 南青山店
住所	港区南青山5-6-24
TEL	03-3797-3790
営業時間	Lunch 月～金 11:30 ~ 14:00(L.O) Lunch 土日祝 11:30 ~ 14:30(L.O) Dinner 17:30 ~ 22:00(L.O)
定休日	なし

このコーナーでは、伊藤病院周辺にある通称で親しまれている通り・ストリートについて、広報誌委員が散歩して見つけたものや、諸説ある由来をご紹介します。

キャットストリート

「キャットストリート」という通りをご存知でしょうか？ 渋谷・原宿・表参道付近を訪れたことがある方は、「キャットストリート」という名前を一度は聞いたことがあるかもしれません。伊藤病院周辺さんぽ第2回では東京都渋谷区に位置している旧渋谷川遊歩道路の愛称・俗称である「キャットストリート」にスポットを当ててご紹介したいと思います。

「キャットストリート」(旧渋谷川



表参道→キャットストリート(渋谷側)



遊歩道路)は東京都渋谷区にある明治通りと並行して通っている遊歩道です。明治通りの宮下公園付近から始まり、表参道交番の地点で表参道を横断し、渋谷区心



表参道→キャットストリート(裏原宿側)

身障害福祉センター付近まで進む通りで全長は約750メートルあります。ブランドショップや雑貨店など多くのお店が立ち並んでますが、伊藤病院前の表参道通りとは少し違った落ち着いた雰囲気のある通りです。

◆昔は伊賀忍者の隠れ里

キャットストリート周辺の商店街を稲田商店街といいます。「稲田」という地名の由来は、徳川幕府が開かれた400年近く前まで遡ります。徳川家康は信頼していた伊賀忍者の一族郎党を、この辺りに住ませたそうです。忍者の隠れ里ということで「隠田」と呼ばれるようになり、いつからか「稲田」という字を使うようになったそうです。

◆水車のまわる川

当時はのどかな農村で、現在のキャットストリートがある場所には渋谷川が流れていました。実際にキャットストリートを歩いてみるとわかるのですが、道が小川の流のように緩やかに蛇行しています。稲田には渋谷川の水流を利用した水車があちこちにあり、その風景は葛飾北斎によって1830年代に描かれた富嶽三十六景の一つ「隠田の水車」として描かれています。



富嶽三十六景「隠田の水車」

昭和10年代には民家が密集し、渋谷川周辺は子供たちの遊び場や住人の台所として賑わい「おかず横丁」と呼ばれ、渋谷や原宿界限では最も古い商店街でした。

「渋谷川」がこの地から姿を消したのは、東京オリンピックを目前に控えた昭和37年(1962年)から昭和39年(1964年)にかけてのことです。以前から生活排水による川の汚れが指摘さ

れ、暗渠化(フタをされた川のこと)して下水道にすることが計画されていたものが、オリンピック開催をきっかけに、一気に計画が動き出したのです。

「渋谷川」は、フタをされた時点で川の地位を剥奪されて「下水道」になってしまいました。そのため、「旧」渋谷川遊歩道」という名称になっています。

◆キャットストリートの名前の由来

猫の出没が多いことや猫の額ほど狭い通りであるからという理由など説がありますが、一番は渋谷側から通りに入ると右に見える「PINK DRAGON」の店員で結成された「ブラックキャッツ」というロカビリーバンドが結成された地であるからという説が有力です。



キャットストリート名前の由来PINK DRAGON

◆やがて”ファッションの街”へ

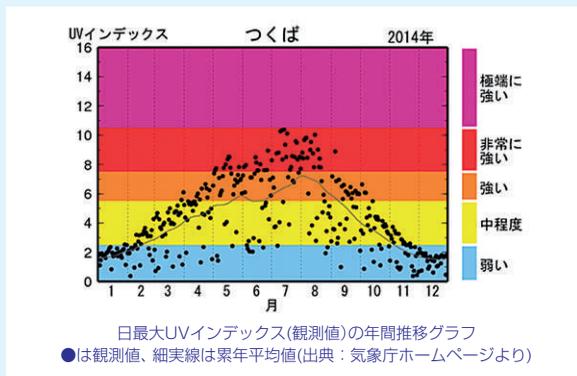
この界隈には昔から、いくつかの洋裁学校があり、卒業した人たちが自分流の服を作って、この辺りの洋品店に売られるようになりました。1987年頃からはキャットストリート一帯の整備が進み、現在の遊歩道の原型が整えられました。バブル時期から表参道に有名ブランドがこぞってショップを出店し始め、その影響でキャットストリートにもショップが増え始めましたが、表参道と大きく異なるのは、ストリート感覚の強いショップが多く集まったことです。90年代半ばから古着系やインディーズ系を中心とした個性的なショップが集い、「裏原宿」と呼ばれて流行の発信地となったことがそれを象徴しています。このストリートは雰囲気を守るために選ばれたテナントしか出店できない仕組みで、若者の個性や感性を重視するエリアとして、現在もトレンドの発信力をますます強めています。



今回は、沖縄県出身の大見見医師が、日焼けの危険性についてご紹介いたします。日焼けといえば夏のイメージが強いですが、紫外線は1年中降り注いでいます。秋の紫外線は夏に比較すれば少ないですが、行楽シーズンでのスポーツや旅行の際にも、日焼けにはご注意ください。

日焼けにご注意！

9月は暦上では秋ですが、まだまだ残暑厳しい季節が続きます。日焼けは熱傷深度I度またはII度の熱傷であるとされます。紫外線を皮膚に浴びることにより、皮膚が赤く炎症を起こす急性症状(サンバーン sunburn: 2~6時間後皮膚が赤くなり、痛みが6~48時間の後に最もひどくなる)や、メラニン色素が皮膚表面に沈着する(サンタン sun tanning: 24~72時間の間、色素沈着が進行する)ことからなります。私の出身地の沖縄は北海道と比較すると年間の紫外線量が約2倍とされます(国土交通省 気象庁ホームページより)。沖縄に観光に来られる方は、サンオイルなどを塗り海水浴をされる方がいらっしゃいますが、ほとんどが熱傷に近い形で救急を受診されます(沖縄の夏には風物詩のようになっています)。気象庁より発表されているUVインデックス(紫外線が人体に及ぼす影響の度合いをわかりやすく示すために、紫外線の強さを指標化したもの。)は、関東でも9月の段階で中程度~強い値を示しており、まだまだ十分な注意が必要です。



日焼けの対処としては、各々でできることとしては、水や氷による冷却・保湿・安静が一番ですが、発赤・熱感・疼痛が強い場合、水疱ができた場合などは、熱傷として扱われ、医療機関での治療(ステロイド外用薬・感染予防のための抗生剤投与などと)が必要となります。その際は必ず医療機関を受診してください。熱傷になるとその後のイベントは楽しむどころではありません。秋でも紫外線を侮らず、当日の紫外線情報・天候を確認した上で、服装・日焼け止めなどでの日焼け防止対策をするようにしましょう。



海のレジャーに注意!!

伊藤病院 外科 大宜見由奈

※ハブクラゲン
(沖縄の「琉神マブヤー」より、マジムのボス)

沖縄の海の危険生物

私の出身地の沖縄では7～10月は夏真っ盛りの気候で、海水浴には絶好の季節です。この季節には多くの観光客の方が沖縄を訪れます。ただ同時に、海水浴に関連した怪我や熱傷で病院を受診される方も増えます。

■海の危険生物

今の季節の沖縄の海には、関わると時折重症化する可能性のある危険生物がいます。

沖縄県衛生環境研究所の発表によると、平成26年に報告のあった海での加害生物は、刺胞動物が74.7%と最も多く、そのうち46.2%がハブクラゲと多くを占めています。また魚類で多いものは、オニダルマオコゼで3.6%を認めています。その他、クラゲ類のカツオノエボシ、オコゼ類、カサゴ類、ウツボ類などがあります。受傷者は沖縄県内在住・県外在住の方、それぞれがほぼ半数を占めます。そして、遊泳中やダイビング中に被害を受けることがほとんどです。



・オニダルマオコゼ：浅いサンゴ礁等にいることが多く、色や形が石や岩によく似ており、じっとして動かないため気づかずに踏みつけてしまうことがある。背びれに棘があり、棘はゴム底の靴を貫通するほど強力である。オニダルマオコゼの毒は猛毒で、ハブ毒の30倍以上と言われる。

オニダルマオコゼに刺されると激しい痛みやしびれがあり、海外では死亡事例も報告されています。オニダルマオコゼの棘は太く硬く、ゴム底の靴では突き通してしまうので、フェルト底の靴を使用したり、シュノーケリングの際は十分に気をつけてください。刺された場合はすぐに海から上がり、棘を取り除き、傷口を清潔にした上で痛みを和らげるため、患部を40～45度のお湯につけます(やけどに注意しましょう)。大体は疼痛が強く、救急を受診することが多いです。同じく毒を持つダルマオコゼは日本中部以南に広く生息していますので、沖縄以外でもご注意ください。



・ハブクラゲ：ハブクラゲはかさがかさ半透明のため水中で見えにくく、刺されてはじめて気付く場合が多い。6月～9月にかけて多く発生し、特に波の静かな砂浜・入り江・人工ビーチなどで被害が多い。ハブクラゲの触手には、刺胞と呼ばれる毒の針の入ったカプセルがたくさんあり、刺激を受けると毒針が飛び出すしくみになっている。

ハブクラゲに刺されると激痛を生じ、ミミズ腫れのような跡になるのが特徴です。毒により重症化した場合は心肺停止などを起こすことがあります。刺されないようにするためには、ハブクラゲ侵入防止ネット内で泳ぐ(沖縄の整備された海水浴場にはよくあります)。

応急処置 (ハブクラゲ)

- ① 刺されたらすぐに海からあがる
刺された部分は絶対にこすらない
- ② 酢(食酢)をたっぷりかける
- ③ 触手を手でそっと取り除く
- ④ 痛いときは水や冷水で冷やす



呼吸や心臓が止まった場合は、すぐに人工呼吸、心臓マッサージを行う

肌を露出を避けるため、ウェットスーツ、ラッシュガード、長そでTシャツやスパッツを着用するなどの対策を取りましょう。触手に真水、アルコールをかけたり、砂でこすったりすると未発射の刺胞を刺激し、発射する可能性がありますのでしないようにしましょう。刺された場合の対処法は図で示します。

(出典：沖縄県衛生環境研究所ホームページより)

■最後に

ウチナーヤ、クンチチカラトッチヤ、アチサヌバンジンスギティ、メンソーイヌバスヤ、イッペーイイシチヤイビーン。ウミアシビヌバアイヤ、イッペーキチキティメンソーイネー、ウムサイビーンドー。ジヒ、ウチナーンケ、メンソーレー♪
(沖縄は9～10月は暑さのピークを過ぎ、訪れるには比較的良好な季節です。海でのレジャーは十分な注意を払えば安全に楽しむことができます。ぜひ沖縄へめんそーれ♪)

このコーナーでは、当院の診療連携施設であるやましたクリニックの情報をご紹介してまいります。

医療法人福甲会 やました(甲状腺・副甲状腺)クリニック 理事長・院長 山下弘幸

やましたクリニックの山下です。

第48回日本甲状腺外科学会を伊藤病院が主催する予定になっています。上記の学術集会は年に1回、甲状腺と副甲状腺疾患の治療に携わる外科医(頭頸部外科を含む)の集いです。最近では放射線科医師や病理医師の参加も増えてきていますし、甲状腺癌に対する有効な分子標的薬が保険収載されたので腫瘍内科医師の参加も期待されています。今回、学会長の伊藤公一先生が掲げたのは“少子高齢化における甲状腺外科”という非常に大切なテーマです。医療の変遷を考察しながら、私たち甲状腺外科医の役割について述べます。

私は外科医になり30年そこそこですが、研修医時代の医療と現在のそれとは隔世の感があります。昭和50年代(私の研修医のころ)、胆石症の手術での入院期間は2-3週間でした。入院後に検査と説明をして、約1週間後に手術、術後経過がよければその1週後に退院するといった感じでした。主治医も看護師も入院中の患者さんに接する時間は長く、患者さんの性格や生活状況なども把握できる時代でした。そのころは病室に高齢者はほとんどいなかった記憶がありますので、転倒事故などはさほど話題になっていませんでした。もちろん医療事故で訴えられることも少なく、医療者にとっては“良き時代(昭和)”ではなかったかと思えます。現在では内視鏡手術の発展により、胆石症では日帰り手術を行っているところも少なくありません。入院期間の短縮により、業務を凝縮せざるを得ないので、医療関係者は非常に忙しくなりました。その他、書類記載や説明と同意に時間が取られてきています。そのような状況では(勤務が過酷で訴訟リスクも高くなる)、外科を志す医師は少なくなって当然といえるのかも知れません。高齢になると全身

に様々な病気をもつようになり、手術のリスクも高まります。それでは、少子高齢化により医療費削減が求められている状況で、甲状腺外科医はどう対応していけばよいのでしょうか？

まずは診断や治療の集約化をはかることです。集約化することにより診断や治療における医療の効率(時間的・金銭的)が高まります。もちろん手術による合併症も少なくなります。甲状腺外科領域は他の領域に比較して、集約化しやすいことは歴史が証明していますが、さらに集約化をすすめる必要があります。外科医の人員不足に対しては、外科医が手術に特化する制度にする必要があります。欧米に比べて、日本の外科医は手術以外のたくさんの業務を担っています。次に、高齢化(認知症患者さんの増加もあります)や核家族化で受診できない患者さんが増えてきますが、かかりつけ医との連携や遠隔診療(将来的にはせざるを得なくなります)で対応することになると考えます。

今回は少子高齢化時代における医療提供側の対応についての自説を述べさせていただきましたが、医療を受ける側も時代に順応していく必要があります。大学病院・一般病院・専門病院のそれぞれの受け持ち領域の分化がさらにすすみますので、正しい情報を得て病院を選択することが今以上に重要になってくることをわかっていただきたいと思います。



医療法人 福甲会
やました(甲状腺・副甲状腺)クリニック
〒812-0034 福岡市博多区下呉服町1-8
<http://www.kojosen.com/index.html>
TEL: 092-281-1300 FAX: 092-281-1301

甲状腺ホルモンが高くなる病気はバセドウ病だけではありません。甲状腺ホルモンがなぜ高まっているかを診断することが、適切な治療を行う上で重要です。

今号では、甲状腺ホルモンが高くなる病気と、その中で多数を占めるバセドウ病についてご紹介します。

甲状腺中毒症

伊藤病院 内科 鈴木美穂



甲状腺の病気は、「機能」の異常と「形」の異常に分けられます。今回は「機能」の観点から甲状腺ホルモンが過剰になる「甲状腺中毒症」についてまとめます。甲状腺ホルモンが過剰になると、脈拍が速くなったり、体重の減少、手の震え、発汗の増加、疲れやすい、息切れ、暑がり、イライラ、食欲の増加(このため体重が増加することもあります)、排便回数増加などの症状が現れます。自覚する症状は、ホルモンの過剰の程度や期間、年齢などで異なることがあります。また、コレステロール値の低下や、肝機能障害を合併することがあるため、健康診断などの検査から甲状腺中毒症が疑われることもあります。

高齢の方の場合には、ホルモンがあまり高くなくても心房細動という不整脈や心不全を合併して甲状腺中毒症を指摘されることもあります。また、小児では甲状腺中毒症の発症が少ないですが、学力の低下、急激な身長伸び、成長に伴う体重増加が少ない、落ち着きのなさなどが診断のきっかけとなります。

甲状腺中毒症は、甲状腺の機能が亢進した「甲状腺機能亢進症」と、甲状腺の破壊による「破壊性甲状腺炎」に大別されます。甲状腺機能亢進症のほとんどは、バセドウ病で、その他には妊娠時に生じる一過性甲状腺機能亢進症、機能性結節(しこりがホルモンを産生します)、非常に稀な病気ですがTSH産生下垂体腺腫などが含まれます。一方、破壊性甲状腺炎には、無痛性甲状腺炎、亜急性甲状腺炎があります。

これらの甲状腺中毒症を示す疾患の中でも、バセドウ病と無痛性甲状腺炎は治療方針が全く異なります。特にバセドウ病で使用する抗甲状腺薬には肝機能障害や白血球の減少、ANCA関連血管炎など重篤な副作用のリスクがあるため、経過観察が可能な無痛性甲状腺炎との鑑別は大切になります。この時に診断に役立つのが抗TSHレセプター抗体(TRAAb)やTSH刺激抗体(TSAb)※といった抗体の検査や、シンチグラフィ検査です。

甲状腺中毒症を治療またはコントロールしなければならない理由は、心房細動や心不全などの心臓に負担をかけることに加えて、甲状腺クリーゼという病状を引き起こす可能性があるからです。甲状腺クリーゼとは、甲状腺中毒症の原因となる未治療ないしコントロール不良の甲状腺疾患が存在し、この状態に何らかの強いストレスが加わった時に、生命の危機に直面した緊急治療を要する病態を言います。甲状腺中毒症は、きちんと診断をして管理する必要があります。

※TRAAb・TSAb

甲状腺を刺激する自己抗体で、バセドウ病では陽性を示す確率が高くなります。

甲状腺の病気の種類

形と機能の両面からとらえてみましょう。

		甲状腺の形	
		大きくなる (びまん性甲状腺腫)	しこり (結節性甲状腺腫)
甲状腺の機能	ホルモンが過剰 (甲状腺中毒症)	甲状腺機能亢進症 破壊性甲状腺炎	バセドウ病 妊娠時(一過性)※ 機能性結節 亜急性甲状腺炎 無痛性甲状腺炎※
	正常	単純性びまん性 甲状腺腫	腫瘍性疾患
	ホルモンが不足 (甲状腺機能低下症)	橋本病 	

※甲状腺は大きくならないこともあります。

バセドウ病

伊藤病院 内科 大江秀美



バセドウ病とは？

バセドウ病は、甲状腺ホルモンが過剰に産生される病気(甲状腺機能亢進症)の一つです。病気が起こるメカニズムはTRAb、TSAbによって甲状腺全体が刺激されることにより、甲状腺の機能(甲状腺ホルモンを産生すること)が高まるためと考えられています。甲状腺ホルモンが多くなると、第3回で述べられた亢進症状が出現し、また甲状腺の腫れや眼球突出などの眼の症状を呈することも、バセドウ病に特徴的な症状です。

■甲状腺機能亢進症の症状

- ・脈拍が速くなる
- ・体重減少
- ・手の震え
- ・暑がり、発汗の増加
- ・疲れやすい、息切れ
- ・イライラ
- ・食欲の増加(体重が増加することも)
- ・排便回数の増加
- ・不整脈、心不全
- ・学力低下、急激な身長伸び、成長に伴う体重の増加が少ない、落ち着きがない

バセドウ病の診断

バセドウ病は前に述べた症状の有無、血液検査、場合によってシンチグラム検査を行い診断します。血液検査では甲状腺ホルモン(FT4、FT3)が高値、甲状腺刺激ホルモン(TSH※)が低値、そしてバセドウ病の原因となるTRAb、TSAbが高値になっているかという点を確認します。バセドウ病の方のほとんどでTRAb、TSAbが高く、血液検査だけで診断できる場合が多いのですが、この抗体が正常の場合は放射性ヨウ素などを用いたシンチグラムを行い、甲状腺ホルモンが高くなる他の病気と区別する必要があります。バセドウ病のシンチグラムでは、放射性ヨウ素が甲状腺全体に過剰に取り込まれます。正確な診断をつけることで適切な治療を選択することができます。

※TSH：甲状腺ホルモンの分泌を促すホルモンで、脳下垂体から分泌されます。

バセドウ病の治療

バセドウ病の治療には、抗甲状腺薬による治療、アイソトープ治療、手術の3種類があります。これらの治療を患者さんの状況に合わせて選択します。

1) 抗甲状腺薬治療

日本では、抗甲状腺薬(メルカゾール、チウラジール、プロパジール)での治療をまず選択される方が多いようです。甲状腺ホルモンの値によって徐々に内服量を減量し、最小量になっても甲状腺機能が安定していたら中止して経過をみる治療です。治療に長期間を要する点や、副作用の出現が注意点として挙げられます。副作用は痒み、肝機能障害、白血球減少症、ANCA関連血管炎などが主なもので、内服開始後3ヶ月くらいまで出現頻度が高いため、その間は約2週毎に血液検査で確認する必要があります。薬が継続できない程度の副作用が出現した場合は、異なる薬や異なる治療方法に変更します。また、特に妊娠希望、妊娠中、授乳中の方は薬の種類や治療を慎重に選択する必要があります。

2) アイソトープ(放射性ヨウ素)治療

甲状腺には、ヨウ素を取り込んで甲状腺ホルモンを作る働きがあります。この性質を利用して放射性ヨウ素カプセルを内服することにより、ホルモンを過剰に産生しているバセドウ病の甲状腺細胞を減らし、甲状腺自体を縮小させ甲状腺ホルモンの分泌も減少させる治療です。当院ではこの治療を1955年から開始しており、現在は19歳以上の方を対象に行っています。この治療により僅かな確率で眼の症状が悪化することがあるため、事前に眼科で状態を確認して行います。治療効果はゆっくりと現れるため、治療後しばらくはホルモンを減らす抗甲状腺薬を継続します。また、治療後多くは甲状腺機能が正常化し薬が不要になりますが、一部には甲状腺機能低下症になり甲状腺ホルモンの補充が必要になる場合もあります。

3) 手術

甲状腺の組織を切除し、甲状腺ホルモンが過剰に分泌されないようにする治療です。当院では術後の再発をできるだけ避けるため、ほとんどの甲状腺組織を取り除く手術を行っています。手術を安全に行うためには術前に甲状腺機能を正常化させる必要があります。手術翌日より甲状腺ホルモンを減らす薬を中止し、甲状腺ホルモンの補充をはじめます。

伊藤病院 ISO事務局 岩橋靖

医療機関がISO9001を取り入れることにより、患者様やご家族の皆様の満足度向上のために、より安全で質の高い医療サービスを継続的に提供することができます。当院では2010年にISO9001の認証を取得して今年で5年が経過します。



ISO9001では、毎年維持の受審が定められており、今年も6月25日～26日に実施されました。この審査は当院の品質マネジメントシステムが業務の質向上に寄与しているかの視点で行われました。結果は「高く評価できる事項」が8項目、「観察事項」が7項目で、「軽微な不適合ならびに重大な不適合」はありませんでした。

今回の審査で4年連続不適合の指摘を受けることなく、当院のISOを上手に利用する取り組みを高く評価いただきました。下記に高く評価された点をご紹介します。

【維持審査で高く評価された事項】

■患者サービス向上委員会 外来待ち時間短縮に向けて、現状分析から設備増設・スタッフ配置の見直しに取り組み、病院の改築とともに採血、エコー検査、薬局の合計待ち時間を平均1時間40分短縮した。

■医療安全推進委員会 インシデント・アクシデント事例を分析し、改善点に積極的に患者様の視点で取り組み、患者様重視のサービスが定着している。

■感染対策委員会 計画的に院内感染対策マニュアルの見直しを行い、昨年度も14箇所もの点が見直しされている。

■臨床検査室 ・細胞診検査等に対する医師からのフィードバックについて、スタッフ間での情報共有を進めて知識の蓄積を開始し、スキル向上及びノウハウ蓄積への前向きに取り組んでいる。

・各種検査手技に加え、検査支援業務についても技師の力量を評価して適切な業務配置に役立てるなど、提供する医療サービスの品質維持に真摯に取り組んでいる。

■病棟 目標設定に際してSWOT分析をおこない、外部要因・内部要因の特定に基づいて詳細な現状認識が行われている。

■医室室/外来/診療情報管理室/医療相談室 患者満足度調査結果や入院退院に関する届出情報、患者様からの相談内容に関する情報など、各部署が業務に関連して保持する情報が詳細で充実した内容となっている。

■ISO事務局 内部監査では、医師8名が内部監査員として参加していた。チーム医療の核となるスタッフの視点での実効性の高い監査の実施と、多くの改善情報を検出している。

病院からの おしらせ

せきや内科クリニックがオープンしました

関谷健一医師が、5月25日に「せきや内科クリニック」を開院されましたので、ご紹介いたします。

関谷医師は、2010年から3年間、常勤医師として当院に勤務され、その後も非常勤医師として診療を行っております。なお、当院における関谷医師の外来は、水曜午後となっております。

豊島区上池袋に「せきや内科クリニック」を開院いたしました院長の関谷健一です。

大学で糖尿病などの生活習慣病や内分泌疾患の経験を積んだ後に、甲状腺疾患をより専門的に学ぶために表参道にある伊藤病院に3年間勤務しました。

また、市中病院や診療所にて地域診療も経験してきました。

その中で、「患者さんの声をしっかり聞いたうえで、同じ目線になって一緒に病気や健康を考えていく」という理想をもち、その実現の第一歩としてクリニックを立ち上げることにしました。

風邪や発熱、頭痛などの一般内科診療はもちろん、バセドウ病や橋本病などの甲状腺疾患の専門診療を行うとともに、糖尿病や高血圧、脂質異常症、痛風などの生活習慣病の治療にも重点を置いています。

また、疾患の治療だけではなく、生活の質を上げるためのアンチエイジングやAGA治療なども積極的に取り組んでいきたいと思っております。

豊島区で暮らすようになって間もなく10年がたちますが、急速な変化の中でも新しいものや古いものがうまく調和していて、とても懐の深い素晴らしい街だと思います。

そのような大好きな街の一部として、お子様からご高齢の方まで、地域の皆様が心身ともに癒され、健康に毎日を過ごしていただけるよう信頼頂ける「かかりつけ医」としてお役に立てれば幸いです。



せきや内科クリニック

住 所：豊島区上池袋1-37-22
レジディアタワー上池袋1F

電話番号：03-5980-7200

診療科目：内科・糖尿病内科

甲状腺内科

休 診 日：水曜午後、土曜午後、日曜、
祝日

<http://sekiya-naika.jp/>



キャットストリート

キャットストリートは昔、渋谷川(稔田川)という川が流れていたことをご存知でしょうか？1964年東京オリンピックを境に、川に蓋をして道ができました。今でも道路の下には川が流れており、かかっていた稔田橋の跡も残っています。

キャットストリートは小さなセレクトショップや雑貨屋さん、隠れ家的なカフェが立ち並び遊歩道なので、お散歩や散策にぴったりです。華やかな表参道通りとは違い、少しゆっくりとできるのではないのでしょうか？

今号の「伊藤病院周辺さんぽ」で、表紙のキャットストリート取材してきましたので、ぜひ中の記事をご覧ください。(西村)



稔田橋の跡

編集後記

残暑のこの毎日の中にもようやく秋の気配を感じるようになってきました。Voice秋号、楽しんでいただけましたでしょうか。私は今号から広報誌委員に加わり、お手にとりくださる方ひとりひとりのことを思いながら原稿作りに取り組んでおります。皆さまの中にひとつでもキラリと心に残る記事があれば嬉しいです。

秋は食欲やスポーツに形容される季節です。五感を存分に使って季節の移ろいを感じつつ、こころと身体に健康な日々をお過ごしください。(松井)

甲状腺疾患書籍のご案内

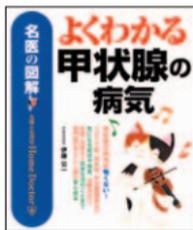
★いずれの書籍も伊藤病院1F売店で販売しております。ぜひ、ご利用ください。



新刊

「患者のための最新医学
バセドウ病・橋本病・
その他の甲状腺の病気」

監修：伊藤公一
定価：1,300円(税込)
発行：高橋書店



「名医の図解
よくわかる甲状腺
の病気」

著者：伊藤公一
定価：1,400円(税込)
発行：主婦と生活社



「スーパー図解
甲状腺の病気」

監修：伊藤公一
定価：1,400円(税込)
発行：法研



「甲状腺の
病気の治し方」

監修：伊藤公一
定価：1,300円(税込)
発行：講談社



「甲状腺の病気の
最新治療」

監修：伊藤公一
定価：1,510円(税込)
発行：主婦の友社



「図解 甲状腺の病気
がよくわかる
最新治療と正しい知識」

監修：伊藤公一・高見博
定価：1,510円(税込)
発行：日東書院

発行 2015年9月1日発行 第51号 伊藤病院広報誌委員会

ITO
HOSPITAL
伊藤病院

〒150-8308 東京都渋谷区神宮前4-3-6

TEL : 03-3402-7411

FAX : 03-3402-7415

URL : <http://ito-hospital.jp>